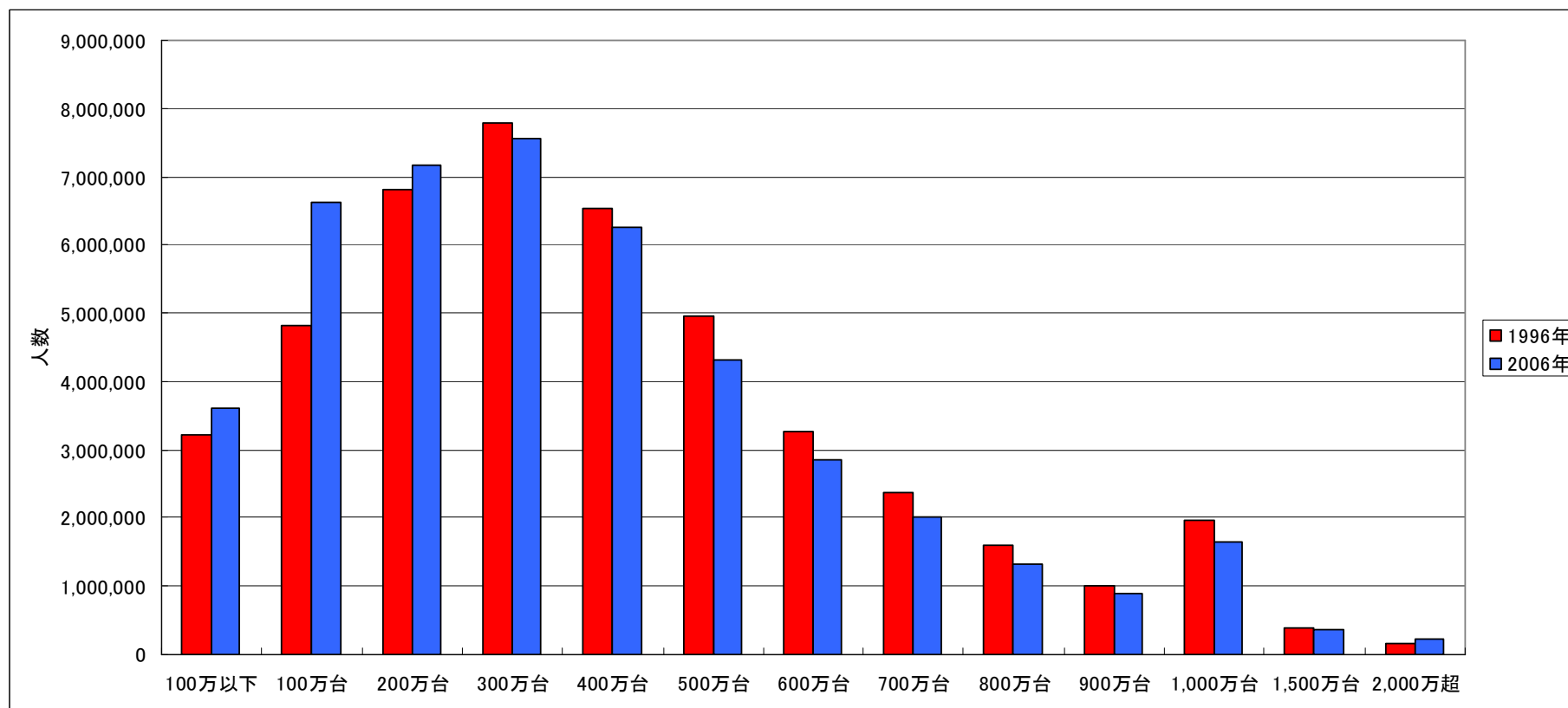


所得格差 所得階層別給与と所得者の推移

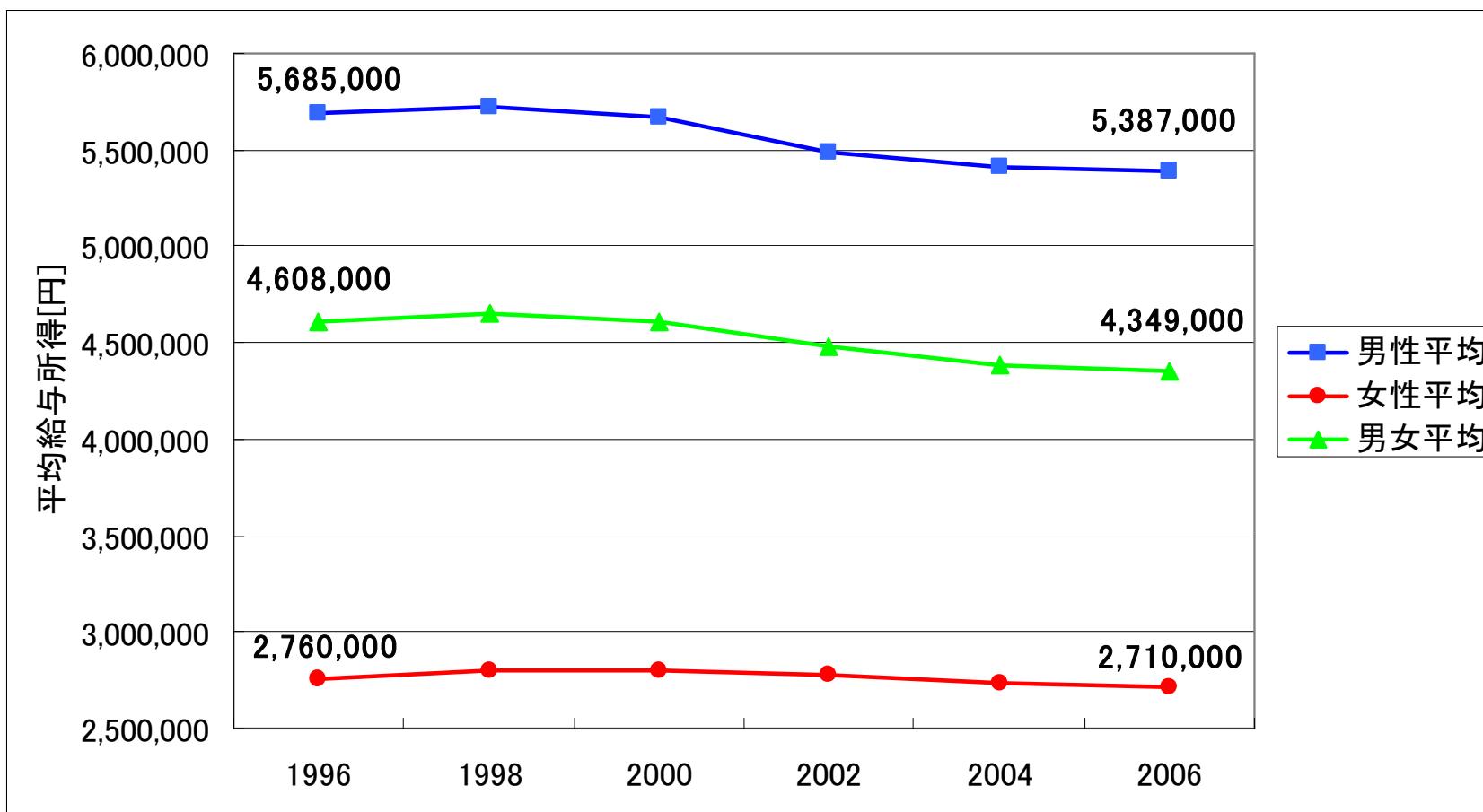


出典:「平成18年度民間給与の実態調査」(国税庁)を元に作成

中所得者が低所得者へシフト。(底抜けの傾向)

給与所得100万円台は96年比で**1,805,000人増加(37.46%増加)**

所得格差 平均給与と所得の推移

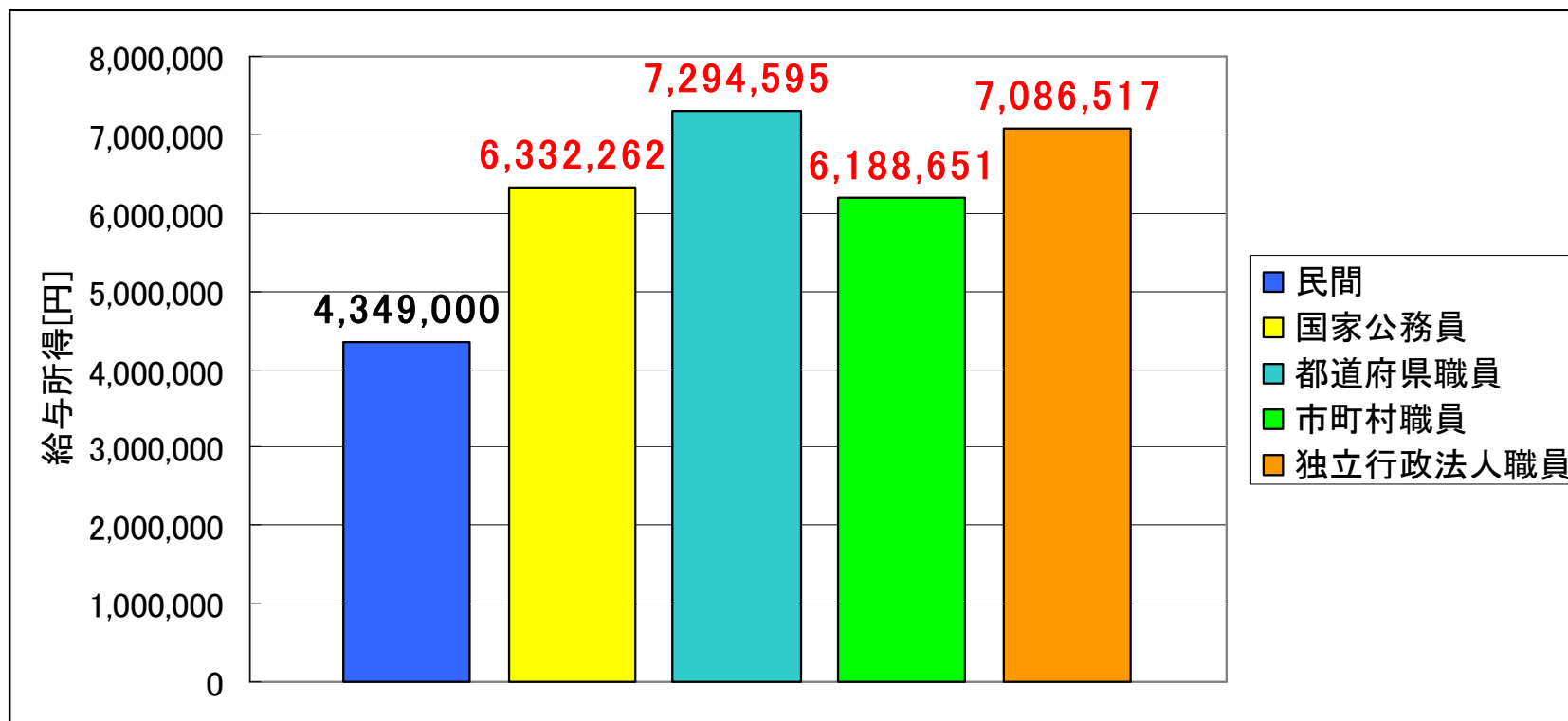


出典:「平成18年度民間給与の実態調査」(国税庁)を元に作成

1998年以降平均給与と所得は8年連続減少

男性は96年比で298,000円減少、男女平均は259,000円減少

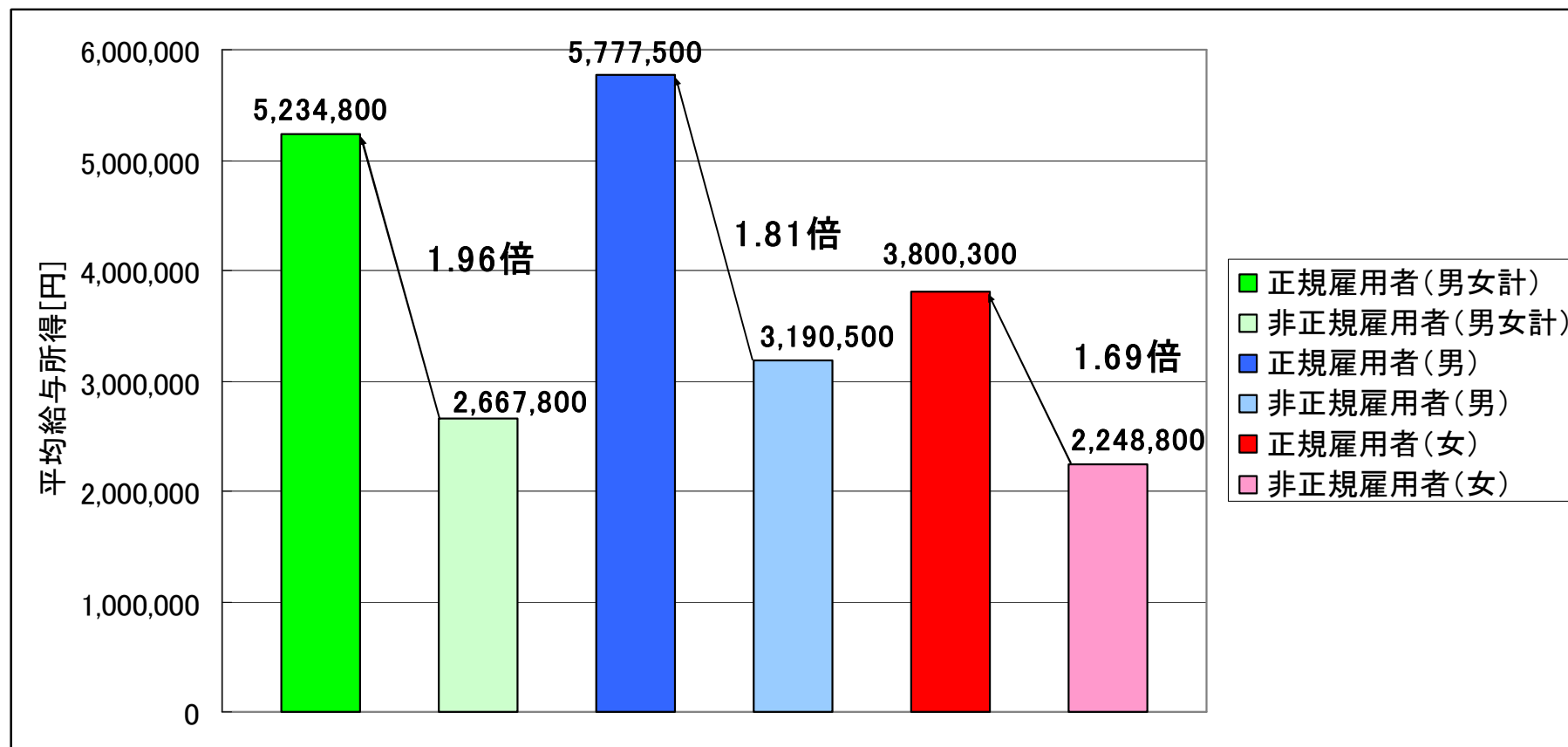
所得格差 官民の給与所得格差



出典:「平成18年度民間給与の実態調査」(国税庁)、「平成19年国家公務員給与に関する報告」(人事院)、「平成18年地方公務員給与実態調査」(総務省)、「平成18年独立行政法人の役職員の給与水準」(総務省)を元に作成

国家公務員	: 145.6	} 対民間給与所得比
都道府県職員	: 167.7	
市町村職員	: 142.3	
独立行政法人職員	: 162.9	

所得格差 正規雇用と非正規雇用の所得格差

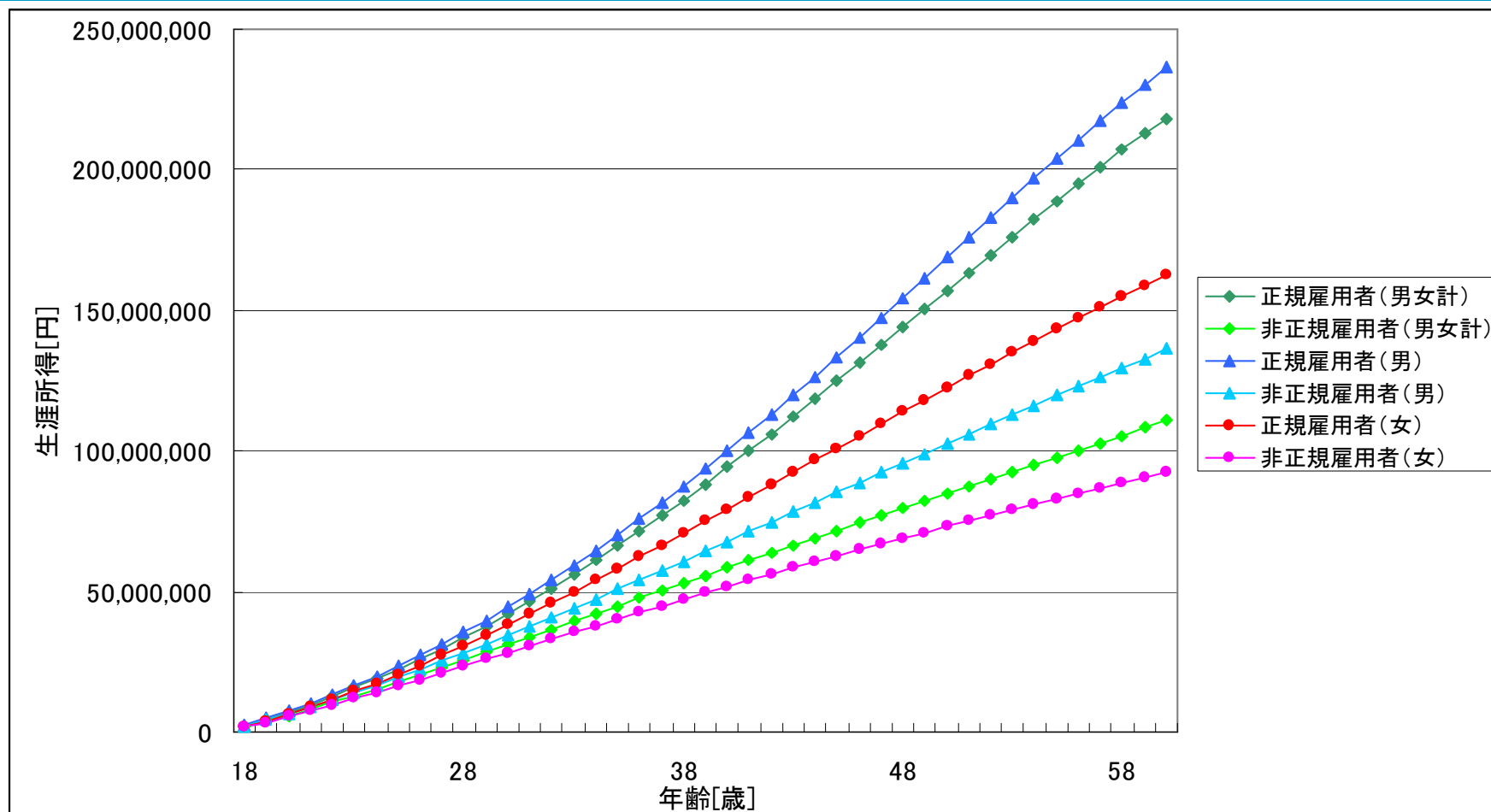


出典:「平成18年賃金構造基本調査」(厚生労働省)を元に作成

正規雇用者と非正規雇用者の所得格差

男性: **1.81倍**、女性: **1.69倍**、男女計: **1.96倍**

所得格差 正規雇用と非正規雇用の生涯所得格差

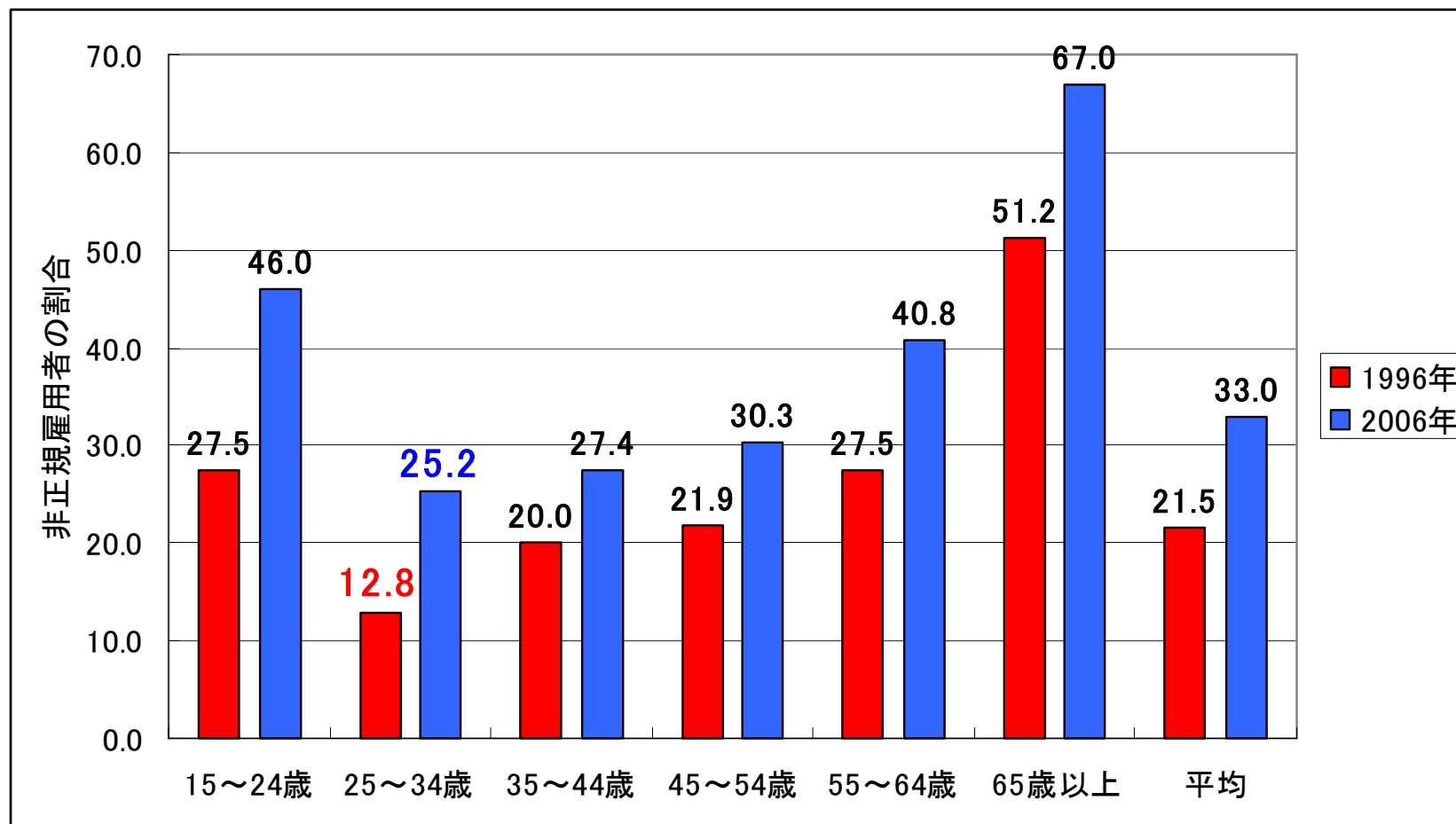


出典:「平成18年賃金構造基本調査」(厚生労働省)を元に作成(年齢階層毎の平均所得データより近似曲線を求めて算出)

正規雇用者と非正規雇用者の生涯所得格差

男性: **1.74倍**、女性: **1.76倍**、男女計: **1.96倍**

非正規雇用者の割合推移



出典:「労働力調査詳細結果」(総務省)を元に作成

若年層の非正規雇用者の割合の増加が著しい。

特に、就職氷河期世代にほぼ相当する25歳～34歳は96年比**49.2%増**